

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成27年度技術情報第16号(ピーマンのアザミウマ類)について(送付)

ピーマンのアザミウマ類について情報を取りまとめましたので送付します。本年は10月下旬以降の気温が平年より高く推移し、アザミウマ類の発生が増加しています。今後の気温も高めに推移することが予想されており、発生にはより一層の注意が必要です。

- 1 農作物名 ピーマン
 2 病害虫名 アザミウマ類
 3 発生状況
 (1) 発生地域 県本土
 (2) 発生量 多

4 情報の根拠

- (1) アザミウマ類の11月の発生ほ場率は79%で平年(52%)より高く(図1)、過去10年では最も高い。また、発生程度の高いほ場も認められている(表1)。
 (2) スワルスキーカブリダニ等の天敵放飼も始まっているが、11月のスワルスキーカブリダニの密度は全体的に低かった(表2)。このため、スワルスキーカブリダニが増殖し防除効果を発揮するまで時間を要することが推測される。
 (3) むこう1カ月の気象予報でも気温が高く推移することが予想されており、発生には好適な条件となっている。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 既に天敵導入したほ場で防除を要する場合は、天敵に影響の少ない薬剤を選定する。
 (2) 薬剤によっては感受性が低下しているため、散布後は防除効果を確認する。
 (3) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる薬剤のローテーション散布に努める。

6 調査結果

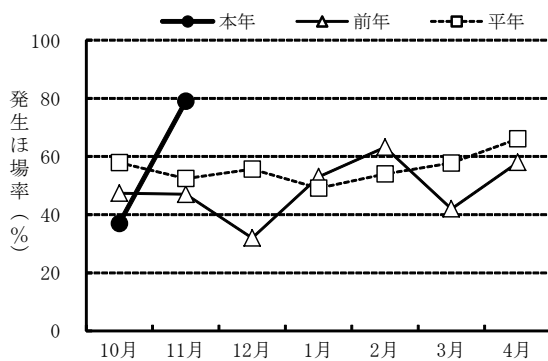


図1 アザミウマ類の発生ほ場率の推移

表1 11月の発生程度別ほ場数(アザミウマ類)

調査地点	ほ場数	発生程度 ^{a)}			
		甚	多	中	少
南さつま市	5			3	2
志布志市	7			1	4
東串良町	7		1	1	3

a) 発生程度：甚は寄生花率で51%以上、多は31~50%、中は11~30%、少は1~10%

表2 スワルスキーカブリダニの寄生花率

調査地点	ほ場数	寄生花率(%)			
		1~25	26~50	51~75	75<
南さつま市	5	1			
志布志市	4	1		2	
東串良町	4	2			

調査ほ場数：防除員の調査を除くため、表1より少ない。